



芥附海部線自衛隊開削工事起工祝賀式

式典で郷土芸能を披露した

「海部高校郷土芸能部」のメンバーと自衛隊幹部・知事・町長

平成25年12月14日(土)

芥附海部線自衛隊開削工事起工祝賀式 平成25年12月14日 文化館



海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **31** (2014.2)

おもな
内容

行政報告	6P
一般質問	7P
委員長報告	13P
シリーズ紹介	15P

災害復旧

○ 道路災害 1カ所

・町道柱野岡本線

工事請負費

2500万円

もたれ式擁壁工

施工延長 31・6 m

高さ 7・0 m



町道柱野岡本線

○ 河川災害 2カ所

・準用河川 九艘谷川

練石積工

工事請負費 300万円

施工延長 12・8 m

高さ 3・0 m

・普通河川 皆ノ瀬谷川 工事請負費 1300万円

コンクリートブロック積工 施工延長 45・0 m

高さ 5・0 m



穴喰九艘谷川



皆ノ瀬谷川

残土処分場

土地購入費

257万円

現

在の残土処分場が概ね一杯になっており、今後着手する河川改修及び急傾斜対策工事などにより、大量の建設残土の発生が想定されているため、新たに残土処分場を購入するものです。



穴喰小谷地区

パソコン(PC)

87台の交換 1294万円



ノートPC 13台、デスクトップPC 74台、計87台

「ウィンドウズXP」のサポートが平成26年4月で終了します。

サポート終了後、対象となる製品へのセキュリティ更新プログラムの提供がされなくなり、データーを盗まれたり、攻撃される危険性があります。

戸籍や住民票を扱うパソコンのため、国、県の指導もあり対象になるパソコンを「ウィンドウズ7」に4月までに更新します。



ウィンドウズ XP

海部森林組合に 高性能林業機械導入

間

伐が遅れている森林の整備促進をするために海部森林組合が高性能林業機械を導入します。

プロセッサ、フォワーダ各1台、トラック2台の計4台5895万円のうち約15%に当たる894万円を補助します。



プロセッサ

議会のうき

10月1日から12月31日まで

10月

- 1日 町村議会広報研修会（東京都）
- 7日 議会広報編集特別委員会
- 18日 海部郡議長会、県議会海部選挙区議員定数現状維持要望活動
- 21日 議会広報編集特別委員会
- 22日 四国横断線改良促進期成同盟会総会（徳島市）

11月

- 6日 第54回四国地区議会議長会研修会（高松市）
- 13日 全国町村議長大会（東京都）
- 14・15日 徳島県議長会研修会（神奈川県大磯町・静岡県小山町）
- 19日 四国横断線改良促進期成同盟会総会（高松市）
- 29日 海部郡・安芸郡町村議会議長会徳島県知事要望活動（徳島県庁）

12月

- 2日 議会運営委員会
- 2日 議会全員協議会
- 9日 第4回定例会（1日目）
- 9日 総務常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 第4回定例会（2日目）
- 26日 議会広報編集特別委員会

陳情書

浜崎分館の新築について

浜崎公民館長 渡り行雄 ほか3名



津波避難所を兼ねた浜崎分館建設の陳情（大里浜崎地区）

第4回定例会

議案の審議

平成25年第4回定例会は、12月9日開会、町長より次の11議案が提出され審議の結果、原案どおり可決され12日閉会した。

条例関係

- ・後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- ・町営住宅管理条例の一部を改正する条例
- ・デイ・サービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・介護保険条例の一部を改正する条例

承認関係

- ・町道路線の認定について
小川口線
起点 小川字小川32番地1地先
終点 小川字平嵐54番地4地先
延長 699m 幅員4m

契約関係

- ・平成24年度竹ヶ島橋耐震補強工事変更請負契約について
契約金額
2億3529万円

契約の相手方
(株) 谷田組

工期

議決のあった日の翌日から平成26年3月20日

- ・平成25年度浅川橋上部補強工事請負契約について
契約金額
7539万円

契約の相手方

ショーボンド建設 (株)

工期

議決のあった日の翌日から平成26年3月31日

予算関係

注釈
↓ ↑
減額 増額

- ・平成25年度 一般会計補正予算(第3号)

1億6138万円 ↑

- ・平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

30万円 ↑

- ・平成25年度穴喰公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

585万円 ↑

- ・平成25年度海部簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

56万円 ↑

12月補正予算後の 歳入歳出予算

歳入	12月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億6,441万3千円	8.8
地方譲与税	0	6,840万円	0.9
利子割交付金	0	290万円	0.0
配当割交付金	0	230万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	150万円	0.0
地方消費税交付金	0	7,320万円	1.0
自動車取得税交付金	0	1,000万円	0.1
地方特例交付金	0	130万円	0.0
地方交付税	5,866万円	39億5,618万円	52.1
交通安全対策特別交付金	0	130万円	0.0
分担金・負担金	72万円	1億5,415万1千円	2.0
使用料・手数料	0	5,167万6千円	0.7
国庫支出金	2,754万7千円	3億7,353万円	4.9
県支出金	925万円	5億150万5千円	6.6
財産収入	0	4,257万1千円	0.6
寄附金		1,050万円	0.1
繰入金	100万9千円	10億3,805万7千円	13.7
繰越金	0	1,000万円	0.1
諸収入		7,235万3千円	1.0
町債	6,420万円	5億5,940万円	7.4
合計	1億6,138万6千円	75億9,523万6千円	100.0

歳出	12月補正	補正後	構成比率
議会費	0	7,733万3千円	1.0
総務費	1,260万9千円	7億2,399万6千円	9.5
民生費	1,191万1千円	16億8,517万5千円	22.2
衛生費	228万5千円	6億1,627万9千円	8.1
農林水産業費	3,191万円	4億6,657万4千円	6.1
商工費	232万4千円	1億2,135万9千円	1.6
土木費	3,013万7千円	6億5,882万2千円	8.7
消防費	1,392万円	4億451万8千円	5.3
教育費	689万円	5億6,266万8千円	7.4
災害復旧費	4,940万円	1億1,283万6千円	1.5
公債費	0	11億3,920万4千円	15.0
諸支出金	0	10億1,443万円	13.4
予備費	0	1,204万2千円	0.2
合計	1億6,138万6千円	75億9,523万6千円	100.0

平成25年本町を表した一字「道」

町長 五軒家 憲次



芥附海部線自衛隊開削工事起工祝賀式で自衛隊員と（2013.12.14 文化館）

価をされていると確信をした。

徳島のサッカーチームヴォルテイスが、J1昇格という朗報があった。知事との対話の中でも「奇跡が起こってもえればな」と話をしていたが、まさにそのようになった。よく頑張ったと思う。

また、海陽中学の三年生、西田君がバスケットボールで15歳以下の日本代表となった。非常にいいことだ。頑張っ

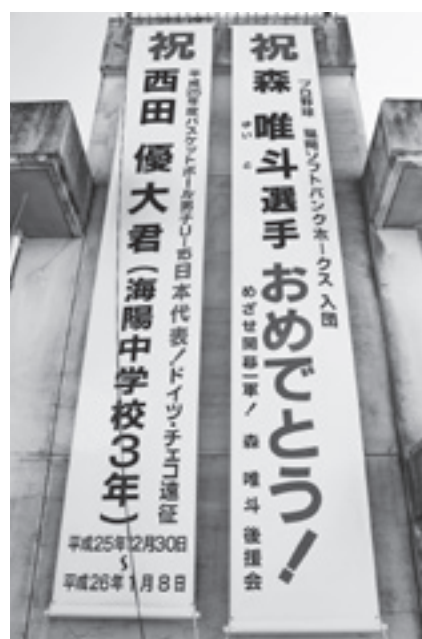
12月2日、驚敷で知事、市町長たちとの対話があり、南部県民局の幹部の方から「海陽町の2人の職員は、県南最高の優秀な職員だ」と言われた。お世辞もあったとは思いますが、2人の職員が高い評

価をされていると確信をした。

知事に対しては、今までどおり第二国道（阿南・安芸自動車道）の事業化をお願いし、また台風27号の避難勧告について指導を仰いだ。知事は「いいではないか」ということであつた。自分も「オカミ少年もあり得るけれども、臨機応変に注意喚起をするために、これからもあり得る。」と述べた。

12月4日、人命を最大限に保護し、社会経済活動の被害を防ぐのを主旨とした『国土強靱化基本法』が成立した。我が町においては、第二国道事業化などに強い味方、追い風になったと大いに期待している。

本年の最大ニュースは、30年余りかか



海南庁舎前に掲げられた 祝幕

た悲願、第二国道が調査区間に入ったこと、県道

芥附海部線工事着工、また避難勧告であつたと思う。私も50年余り役場にお世話になったが、女性職員が朝までずっと待機していたのは、初めての経験であつた。

ただいま熟慮している事業だが、緊急時は避難所となり、平常時には住民など多くの方々のスポーツや憩いの場となる、「屋根付きの木造ドーム」をませのおかに建設したいという発想であ

る。また、「釣り堀」も検討している。構想がまとまり次第、先進地も見てください。審議を仰ぎたい。

当町の指名競争入札がルール通りしている。中身の経過は紆余曲折あ

ると思うが、結果が正当であればいい。官制談合などマスコミを賑わしているが、そういうことは絶対にない。明瞭、厳格、適正に運用していかねばならないと肝に銘じて執行している。

建設工事全社辞退



叶岡 徹 議員

〈管財課長〉

住民生活に支障が出ないように早期発注に努めたい

問 11月に本町の建設工事の入札が不調結果に終わったが、今までに全社辞退ということはあったのか。

答 富田管財課長

11月の2件の不調案件については、1度目の入札で予定価格に達せず再度入札をしたが、全社辞退となった。不調に終わったのは合併以来初めてのことで。

問 1件は災害復旧工事であり、緊急を要する工事である。今後、災害で崩壊などが起きた場合、生活に支障が出た時はどうするのか。

答 管財課長

住民生活に支障が出ないよう入札不調となった場合には、随意契約や設計内容の見直し等を行い、早期発注に努めたい。

問 全社辞退ということだが、なぜ辞退したのかなど業者に話を聞いたのか。

分館建設に負担金は必要か

〈防災課長〉

地元住民と協議をしながら進める

問 防災対策で、浜崎地区から議出された。公民館は地元負担金なしで建てるべきだと思うが、旧海南地区では負担金を払っていた。旧海部・穴喰は払っていない。なぜ海南地区だけ負担金が必要だったのか。

答 福井教育長

旧海南町では「公民館設置条例」により、公民館「松原公民館」のみであり、必要な場合「分館」を設置することができると規定されていた。各地域に「分館」が設置されたのであるが、一部補助金等で建設された「分館」もあるが、多くは民間施設を借用し「分館」として活用していた。半官半民という公民館の特質、受益者負担という主旨から、修繕等に関しては地域住民にも負担を仰ぐことになった。

問 公民館を建て直す場合、防災センターと併用活用できる建物、例えば会議を開いたり、避難所として使用できる円筒形の建物にすればいいと思

うが、どうか。

答 谷岡防災課長

貴重なご意見として検討させていただきたい。今後、防災施設、集会施設としての機能を最大限活用できるよう、財政面も考慮し、地元住民と協議をしながら進めて行きたい。

問 海南大里地区の排水問題だが、全然改善されていない。未だに敷地の中に穴を掘って家庭雑排水を地中に染みこませている。今後どうしていく計画なのか。

答 東谷建設課長

大里・四方原地区の一部には地形的な問題、あるいは農業用水との関係等から家庭排水が困難な地域があり、これまで徐々にではあるが整備をすすめている。今後とも効果、効率性から優先順位等を考慮し、排水困難な状況を改善していきたい。



家庭雑排水を染みこませている

答 五軒家町長

大里・四方原は起伏が激しい。抜本的に解決するならば、大きな排水路をつけるしかない。自助努力されている家もある。お互いに努力して解決していかなければいけない。

問 徳島ヴォルティスJ1昇格。非常にめでたい事であるが、本町にとってもどうか。鳴門まで応援に行きたいが、車で約3時間かかる。神戸や大阪からの方が近い。副町長も県職員時代に関わっていたと思うが、どういう考えか。

答 中張副町長

本町のサッカー少年・少女達もトップレベルのプレーが見られることに大いに期待している。また、昇格は徳島を売り込む好機として捉え、地域経済への好影響の期待も大いに高まっている。一方、スタジアム周辺の交通渋滞や駐車場確保が懸念されている。今後、県南から試合を見に通うためには、特に、交通渋滞の解消が必要である。県南の道路整備の促進や徳島市周辺道路の早期整備に向け、県をはじめとした関係機関に要望していくことが必要。



三浦 茂貴 議員

数多くの一般質問をしてきた中で、「勉強したい」「検討する」という前向きな答弁が得られたものについて、その後、どのように検討、勉強等をしているのか。また、今なら実現できるのではないかなというものについて、再質問する。

問 「消防屯所にテレビ

がなく待機している団員が情報収集ができないので各屯所にテレビを設置して欲しい」という過去の質問に対し、「十分検討する」との答弁であった。あれから二年経ったが、テレビ設置に関して、どのような検討がなされたのか。

答 谷岡防災課長

テレビの受信料や使用料の割引制度はないと聞いているが、屯所へのテレビの設置については、消防団からも要望をいただいております。風水害等による屯所での待機の際には、情報の入手のため、必要だと考えています。1年間のうち、屯所を利用する期間は限られていると思うが、財政的に

消防屯所にテレビを

〈防災課長〉

宅内工事を予算計上する



海南庁舎前消防屯所

町独自の放送は流せるのか

〈企画課長〉

できるが経費がかかる

答 福岡企画課長

初期費用として機器一式と専用スタジオで約1億円。ランニングコストが月々約60万円。職員の人件費が2〜3人の配置で約100万円。

問 現在整備されているケーブルテレビ網を利用して、海陽町独自の放送を流す場合に、具体的にどのくらいの費用がかかるのか。

包括医療体制の進捗状況は

〈町長〉 一步一步やっている

答 奥原保健福祉課長

包括相談室の相談件数については、毎年40件前後で推移している。現在、包括医療体制については、関係機関と連携しながら事業展開を行っている。今後についても住民の保健衛生及び福祉の向上の

問 海部庁舎にある包括医療相談室利用者の推移と現状報告、また、包括医療体制がなかなか進んでいない原因と見解について聞きたい。

答 五軒家町長

形には見えていないが一步一步やっている。病院が司令塔であることは間違いない。その病院を充実し、司令塔としての責務を果たしていただきたい。

ため様々な施策を包括医療体制の中で講じていきたい。

企業誘致の政策はどうなっているのか

〈産業観光課長〉

産業活性化に向けて行きたい

問 県が主体となっていて、市町村と連携し企業誘致に取り組むというところで、当時、要綱も作り二回会議も行った。あれから五年、どのような進展があったのか。

答 産業観光課長

県内では、三好市、神山町で10社程度の進出が見られる。

美波町でサテライトオフィスを立ち上げた方は旧日和佐町出身で、人と人との繋がりによって、地元貢献への思いから一気に進んだと聞いている。

本町においても県に対して、そういった企業情報を要請して、町独自の情報収集によって雇用の場の創設、産業の活性化に積極的に取り組むたい。

答 歌産業観光課長
県内実績としては、日本政策金融公庫による低利の融資制度活用が約40件、県税の課税免除制度を受けたのが8件程度と聞いている。

問 同じ海部郡の美波町では、サテライトオフィスという企業誘致事業を行っており、すでに三社が美波町にオフィスを持って、新たに四社の進出が決定した。県主導で約二年前に検討委員会が行われ、美波町同様、海陽町も出席していたのであれば、そのあたりの経緯と、今後の対応を聞きたい。

ピロリ菌検査で胃ガン撲滅を!!



原 ひろみ 議員

〈保健福祉課長〉積極的に受診勧奨

二人に一人がガンにかかると言われるが、ガンで命を落とさぬためには、早期発見と治療が必要。進行する前に検査を受けることが重要となる。胃ガンの患者の94%がヘリコバクターピロリ菌に感染していたとの報告がある。

問 当町の胃ガン検診は、40歳以上に胃部X線検査しか行っていないが、この検査だけでよいのか。

答 奥原保健福祉課長

現状では胃ガン検診はX線検査の実施で行っている。引き続き積極的に受診勧奨を行っていききたい。

問 当町での検診受診率の目標値はどの程度か。

答 保健福祉課長

本町の目標値は40%である。

問 昨年の受診率は何%か。

答 保健福祉課長

対象者は40歳以上の方

で、受診率は4・7%であった。

問 低受診率の原因はなぜか。また、向上しない原因の分析は?

答 保健福祉課長

検診車が本町を訪れて行う集団検診のみでは限界があると感じている。集団検診の他に医療機関に委託する方法もあるかと思うが、町単独では体制の構築が難しい状況である。

問 改善するための対策は?

答 保健福祉課長

集団検診を委託している機関に回数を増やす要望を行い、また胃ガン検診の広域化などを関係機関に要望していききたい。

問 胃部X線検査だけでなく一歩進んだ早期予防対策が必要だが、簡単に効果的な検査方法を導入する予定はないのか。また、胃ガン検診にピロリ菌の感染有無の検査を追加してはどうか。

答 保健福祉課長

胃ガン予防のためのピロリ菌の除菌の有効性は実証されつつあるが、本町では胃ガン検診の受診向上に努

地籍調査を迅速に

〈管財課長〉

今後は海岸に近い平野部から重点的に実施

東日本大震災から2年9カ月。地籍調査の完了していた地域は集団移転や用地買収が順調に進んだ。

問 現在、当町の地籍調査の進捗率は1・8%しか進んでいない。全国平均50%に比べ、大幅に低い状況である。

答 富田管財課長

地籍事業については今年で10年目となる。平成26年度の調査で、大里及び四方原の平野部の現地調査がほぼ完了する予定。

問 南海トラフ巨大地震が予想される中、浸水高の高い沿岸部から順に早急なる調査を進めるべきである。

答 管財課長

今後の地籍事業については、海岸に近い平野部から重点的に実施していく計画である。

問 現在の職員2人体制では50年もかかってしまうが、今後何年計画で調査をする予定なのか。職員を増加するか、外部委託をするか、迅速な調査はできないのか。

答 管財課長

管財課4名で協力し、最

近2年間の地積調査は、過去を上回るペースで進めており、事業の推進に努めていきたい。

問 森林整備事業や間伐材除去事業が円滑に進むためにも、森林境界を明確化する必要がある。

答 産業観光課長

次回の町配布チラシの中に、森林境界の明確化を進めるための森林組合の取り組みについて織り込む予定となっている。

問 山の管理者が分からないとか、管理のできない山を森林保護のため、公有林化する計画はないのか。

答 歌産業観光課長

那賀町で公有林化の動きがあることは承知しているが、本町では今のところ予定はない。



四方原地区の地籍調査

大里松原の松の切断持ち去りへの対応は？



長尾 正大 議員

〈産業観光課長〉被害届の提出検討



大里松原

問 10月末に新聞でも報道された、大里松原の松の枝が盗まれる被害が相次いでいるという問題について、町はどのように把握しているのか。

答 歌産業観光課長

一般住民の方からの報告により、報道機関から取材が入った。ただちに担当者が現地で調査したところ、相当数の松の木が切られているのを確認した。



警告看板



監視員章

問 今後、同じような事件が起きれば、町ではどのような対応をするのか。

答 産業観光課長

大里松原は森林法に規定する保安林、かつ、自然公園法の第2種特別地域に指定され

大里集落代表、徳島県南部総合県民局、町担当者で協議し、啓発看板の設置と牟岐警察署への報告とパトロール強化の依頼を行った。

小中学校の土曜日授業の見通しは？

〈教育長〉教育委員会が審議を重ね方向付けを検討

ており、重要な区域である。今後においても松の木の切断・持ち去りの事象があれば、町としては被害届の提出も視野に入れた検討を進めていかなければならないと考えている。あわせて、啓発活動にも取り組みたい。

問 文部科学省が、公立

学校現場に生まれた問題は、授業時数の増加よりも、学習内容の増加であり、小学生の学習内容が、前回より約3割増えた。学習内容の量と授業時数の乖離の問題を、教師の指導力の向上によってなされなければならない。様々な工夫を凝らし、指導方法の改善のため、現場の教師達は日々、教材研究に努めている。

答 福井教育長

問 新学習指導要領が、小学校は平成23年、中学校では平成24年から全面实施になり、授業時間数が主要教科で約1割増になつて1〜2年経ち、増えた授業時間により、どのような変化や検討課題が出てきているのか。

答 教育長

学校での普及を目指す方向の「土曜日授業」。海陽町では、こういった検討がなされているのか。また、今後の見通しは。

授業内容量に見合った授業時数ということから言えば、土曜日授業は二考の価値はあると考える。ただ、そのための法整備を含めた条件整備が必要であり、保護者等への説明も十分になされた上でない、町単独で行うのは、いろんな問題を生む可能性が予測される。法整備の問題、他町との関係、スポーツ少年団等の社会活動との関係、その他もろもろの条件整備を行うことが前提であつて、土曜日授業を拙速に実施するのは望ましいとは言えない。以上のような点を踏まえて、教育委員会としては、学校や保護者等の意見を参酌しながら、より良い方向を模索していきたいと考える。

全町避難勧告を発令する判断基準は？



長岡秀一郎 議員

〈町長〉臨機応変に対応

問 避難勧告の決定者は町長である。どのような状況下で勧告を出すのか。

答 谷岡防災課長

土砂災害に関する避難勧告の基準として、防災計画では、①連続雨量が400ミリを超え、時間雨量が50ミリ以上の強い雨が予想される時②土砂災害警戒情報が発表された時③土砂災害危険箇所等の巡視等により、前兆現象が発見された時の3点が判断基準になっているが、気象庁の今後の予測や巡視の状況も踏まえ、総合的に判断することになっている。

答 五軒家町長

現状を把握し、即決が自分の義務であり、臨機応変に対応するべきである。

問 避難勧告を出す前には準備段階がある。町も要援護者台帳を整備しているという。要援

護者に対し、正確な情報を周知したのか。

答 防災課長

10月24日には「大雨が予想されるため、早めの避難を心がけていただきたい。」旨の注意喚起の事前放送を3回行った。今後も早めの対応を図っていく。

問 要援護者は全体で1956人である。町職員、社協、民生委員との連携について把握しているのか。

答 奥原保健福祉課長

要援護者台帳の情報を共有し、連携体制は構築されている。

問 職員は非常事態であり、全員が参加したと聞いている。消防団、広域消防、自主防、社協、民生委員との連携はどうか。

答 防災課長

消防団については団長の指示のもと、迅速に対応できる体制をとっている。消防組合、警察、県と連絡を取り合い、情報共有を図っている。

問 登校している時間帯

の学校現場の対応は？

答 福井教育長

警報発令に関しては、県教委からの通知・通達もあり、海陽町としては地域の実情に合わせて警報発令時の学校の対応マニュアルを作成している。警報が発令された時間、解除された時間等に依りて、学校の対応が決められている。避難勧告に対してはそれに準じた対応をすることになる。

問 町防災計画では、急傾斜危険指定地区が44カ所あるが、土砂災害に係ない地域や高台もある。全町避難勧告を発令した理由は？

答 町長

指定をしていない地域でも、土砂災害の可能性はゼロではないので拡大した。

問 計画では、土砂災害に対する避難勧告区域のある一定の地区を除くとの項目があるが？

答 町長

地形環境からである。

問 水害対象地区と地域

外もある。水害や土砂災害の危険性のない所まで避難勧告の対象にするのであれば、防災計画の見直しも考えなければならぬと思うが？

答 町長

計画はあくまで基準。臨機応変に対応したい。

問 災害対策基本法42条において「防災会議は防災計画を作成し、毎年地域防災計画に方針を加え、必要がある時は、これを修正しなければならない」となっている。防災会議はどの程度開催されているのか。

答 防災課長

現在まで、地域防災計画の作成または一部修正を行った際に、防災会議を3回開催した。

問 会議の発議者は町長である。災害が多く発生する状況下、防災会議を開き客観的な意見を聞いてみることも必要ではないか。

答 町長

命を守るため、避難路・避難タワー・高台など、あらゆる角度からやっていきたい。住民の方の協力もお願いしたい。

答 町長

会議をすべきか担当課と協議しながら決めている。

問 県は南海トラフ巨大地震で、浸水被害が想定される10市町を指定する方針を示している。正式決定された折には、財政的な措置で避難タワーや避難路の建設について、財源的には余裕ができる。今後も積極的に取り組んでもらいたい。町長の考えは？

答 町長

命を守るため、避難路・避難タワー・高台など、あらゆる角度からやっていきたい。住民の方の協力もお願いしたい。



昭和南海地震津波絵本「シロのないた海」を子どもたちにもわかりやすくミュージカルで演じた劇団レインボー（2013.12.22）文化館

町長選挙について真意を聞きたい



見吉 政貴 議員

〈町長〉 出处進退は川の流れの如く

問 合併して8年、強い意志と決断力で「和の輪」を基本姿勢に「和の町」を目指し、安定して海陽町を築き上げてきた五軒家町政ではあるが、任期も残り数ヶ月となった。そこで、2期8年の実績と効果、また来年4月に執行される町長選について真意を伺う。

答 合併当時の財政状況を振り返ると、起債残高（借入金）3町合わせて178億5000万円。基金はなし。交付税に依存する歳入予算であった。歳出予算は義務的経費の構成比率が半分以上で、非常に高い数値であり、町独自の政策に使う予算、余裕は全くなかった。財政構造を抜本的に見直し、強い決断と実行力で行財政改革に取り組

答 五軒家町長
行財政改革は自分1人の力では決してない。議会の同意のもと、また職員も歯を食いしばって頑張り、成し遂げられた結果である。

問 大幅な組織の見直しで、収入役を廃止し、課の統廃合も行った。

答 また、川上・浅川両小学校を海南小学校に統合し、海部・海南中学校も統合して、新しく海陽中学校を開校した。議会も身を切って協力を行った。合併当時20人だった議員数を、22年の選挙では16人に、また、来年4月の選挙では、さらに2人減らす。まさに行政と議会が一丸となって行財政改革を行ってきた結果、財政が大きく改善されてきたと思うがどうか。

私も6回の選挙を戦ってきた。前回は加齢、在任期間が長い、口が悪いと散々叩かれた。しかし、私を支援してください、私を支援してください、心から感謝をしている。本町が行った平成の大合併。これは経費の削減において他にない。徹底的にやってきた。

問 財政再建の大きな要因は、大幅な人件費の削減と、合併特例交付金をうまく運用し、合併当時の最大のピンチを大きなチャンスに変えた。

答 その自らの8年を振り返った思いと、町長選挙についての真意を聞きたい。

答 町長
7年7カ月、自分が歩んできた道は納得はしている。職員を大きく減らしたことは、ずばり選挙に大いに響くが、これは当然であるし、それを覚悟の上でやってきた。た



成人式（2014.1.2）文化館

だ、完全燃焼できたかと言えば、そうではない。「日暮れて道遠し」が正直なところである。最後までやれ、けじめをつけろという方もおられる。また、辞めて気楽にいかとう方もいる。私は半世紀以上、役場人生である。宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃える。今はまだ使命が継続している。自分の出处進退は毀譽褒貶、我関せず、川の流れの如くである。

般

質

問

海陽町議会では、総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会を設置しています。

本会議から付託された議案を12月9日、10日、11日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

総務常任委員会

金目・五反田津波避難路 1100万円計上

委員長 池下 嘉郎

12月9日開会。

町営住宅管理条例の一部を改正する条例では、延滞金の割合を現行の14・6%、納期限の翌日から1カ月を経過する日までは7・3%を引き下げる改正であった。

平成25年度一般会計補正予算では、1億6138万円追加し、予算総額75億9523万円とする。

所管の主なもので、歳入では、普通交付税を

5866万円。津波避難

路整備に、県補助金のと

くしまゼロ作戦緊急対

策事業補助金300万

円と町債の緊急防災・減

災事業債を800万円の追加である。

歳出では、総務費の

電子計算費では、パソ

コン基本ソフトのサ

ポート終了に伴う事務

パソコン62台の更新費

に929万円。購入時は

入札を行う。町長選挙及

び町議会議員一般選挙費

に、本年度予算分として

205万円を計上し、未

計上分は、平成26年度当初予算に計上する。消防費の常備消防費に、12月22日に開催される防災チャリティー会場の使用料として12万円。津波対策費では、穴喰金目と五反田地区の津波避難路工事費に1100万円を計上している。

以上で、定例会に上程されている議案について



津波避難所整備（五反田地区）

文教厚生常任委員会

城山荘・さつき荘統合 休業は年末年始のみ

委員長 長岡秀一郎

12月10日開会。

本定例会に上程された当委員会に関する案件は、議案5件、陳情書1件である。

介護保険条例の一部を

改正する条例について

は、特例基準割合の変更

に伴う延滞金の割合の見

直しである。延滞金確定

金額に100円未満の端

数がある時、また、その

全額が1000円未満で

ある時は、その端数金

は、全て了承した。

付託されている陳情

書・要望書について、「浜

崎公民館の新築について

の陳情書」は、委員から

避難場所としても早急に

対応すべきとの意見もあ

り、審議の結果、採択した。

額、またはその全額を切り捨てる改正案である。

後期高齢者医療に関する

条例の一部を改正する

条例は、特例基準割合の

変更に伴う延滞金の割合

見直しである。

デイ・サービスセンタ

ーの設置及び管理に関す

る条例の一部を改正する

条例は、城山荘、さつき

荘統合に向けた条例整備

である。また、休業日につ

いて、さつき荘は利用者

者の増加も考慮し、年

末、年始のみとする改正

案である。

平成25年度一般会計補正予算。福祉関係の主なものは社会福祉協議会・パソコン購入補助金283万円、国庫支出金平成24年度分返還金173万円、認知症施策推進委託料20万円、子育て支援システム改修費600万円、風疹ワクチン接種費助成金52万円。教育関係として、教育委員会事務局学校関係パソコン購入費330万円、海南小学校屋上修繕

費74万円、海部小学校校舍雨漏り修繕費15万円、海陽中学校体育部室修繕費84万円、海陽中学校校舎屋上修繕費45万円、海陽中学校生徒派遣費51万円。

国民健康保険特別会計補正予算については、国保税過誤納還付金30万円。

以上、所管5議案については原案通り了承した。

陳情書「公費負担にもとづく最低保障年金の創設を求める陳情」について



屋上からの救出訓練 徳島県防災訓練
(美波町旧水産高校 2013.12.15)

ては、審議の結果、不採択とした。

産業建設常任委員会

浅川橋6mに拡幅

委員長 高島 武夫

12月11日開会。

竹ヶ島橋耐震補強・県道芥附海部線道路工事現場を巡視し進捗状況、工事概要等の説明を受ける。

町道路線の認定については、小川口線（小川地区の国道193号のバイパス工事完了により旧道となる区間）を認定するものである。

浅川橋上部補強工事請負契約については、7539万円でショールンド建設（株）と契約するものであり、浅川地区の避難道、また県指定の

緊急輸送路として重要な橋梁で、上部工補強と拡幅5.5mから6.0mとし、施設の改良・舗装をするものである。

一般会計補正予算の主なものでは、産業観光課については、高効率林業機械等導入補助として894万円を海部森林組合に補助、まぜのおか太陽光発電施設と体育館の空調機等の追加工事費に162万円である。

建設課については、県営水産関係事業費の負担金で鞆奥漁港橋梁架け替え事業、鞆奥・穴喰漁港防波堤と岸壁等の耐震点検費、穴喰漁港機能保全計画策定

業務費で1988万円、公有財産購入費257万円は、新たに穴喰小谷地区に残土処分場（1万2875㎡）を購入するものである。

町道神野前支線改良工事費2500万円は施工延長105m・幅員3mに

拡幅改良するものである。農林水産施設災害復旧費750万円は農地災害・林道災害各一カ所、公共土木

施設災害復旧費4190万円は道路災害一カ所・河川災害二カ所である。

穴喰公共下水道事業特別会計補正予算では、家屋調査・舗装工事・減債基金積立の585万円の追加補正である。

以上、所管されている議案については全委員、異議なく了承された。



芥附海部線巡視

今回は、行政と密接に連携し、さまざまな事業を推進している社会福祉協議会、略して「社協」を紹介します。

この社協の会長は、中張 茂 海陽副町長です。

社協とは？

地域住民の方々の協力を得て、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを行う非営利の民間団体（公共性を持つ）です。

民間団体である意義は？

ひとことに社会福祉といっても、その範囲は大変幅広いため、課題を解決していくという行政の手法では対応に限界があります。そこで、民間団体としてさらにきめ細かく、しかし、公共性を保ちつつ、住民の方々の小さな要望にも対応していくことに社協の存在意義があります。

- 所在地 海陽町役場 海部庁舎 2階
- 組織
 - 会長 中張 茂 副町長
 - 理事 12人 評議員 30人 監事 2人
 - 職員 正規 39人 臨時 22人 パート 29人

○平成24年度実績

一般会計	収入	3億4,182万円
	支出	3億4,116万円
特別会計	収入	2,780万円
(シルバー人材センター)	支出	2,774万円

○管理施設（町委託事業）

- ・デイサービスセンター さつき荘（※城山荘は、25年度中にさつき荘への機能統合を目指す）
- ・デイサービスセンター わしずみ荘
- ・宍喰保育所

社協の事業内容は？

1. 地域福祉事業
 - ①住民との協働による福祉事業
 - ②障害者地域生活支援事業
 - ③共同募金配分金活用事業
 - ④ネットワーク協働事業（福祉団体活動支援）
2. セーフティーネット事業
 - ①日常生活自立支援事業
 - ②総合相談事業
 - ③生活福祉資金貸付事業
 - ④福祉金庫貸付事業（善意銀行）
3. 介護保険事業
 - ①地域包括支援センター
 - ②居宅介護支援事業
 - ③訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
 - ④通所介護事業（デイサービスセンター）
4. 地域支援事業・在宅老人等福祉事業
 - ①配食サービス事業
 - ②買物サポート事業
 - ③生活管理指導員派遣・軽度生活援助事業
- ④生きがい活動支援通所事業（生きがいデイサービス）
5. 保育所運営事業
 - 宍喰保育所
6. シルバー人材センター事業



三世代交流

活動内容を教えてください。

毎週金曜日、義仁荘にて午後8時から9時まで心地よい汗を流しています。施設使用料及び講師代として1回600円頂いています。

海陽町のいいところは？

山、川、海と三拍子そろった自然豊かで空気もきれい。また、食べ物も新鮮で豊富。1時間かければ何でもそろそろ施設があり、子どもに対しても手厚く、今は、生活するにはとてもいいところだと思います。



たのしいよ～！



講師を囲んで

海陽町に対する要望はありますか？

高齢化になり若者が少ない。若者が帰って来れるような町に。

また、海陽ブランド、農業の会社化など何か考えては？

これからは子どもたちも当てにならないと思うので、年金で生活できる施設があったらと思います。

議会だよりを読んでいますか？

一通りは目を通します。一般質問については、いつも新人議員しか質問していないような気がしますが、何か訳でもあるのでしょうか。

ありきたりなようですが、発見すること多いです。時間が合えば議会を傍聴したいと思います。



議会広報編集特別委員会
議会事務局
TEL734164(直通)

また、町民の皆様が議会へ傍聴に来てくださることをお待ちしております。(叶岡)

新年明けましておめでとうございます。
旧年は議会広報を読んでいた
だき、また、いろいろな意見
等もお知らせいただき大変参
考になりました。本年も広報
委員会としては、分かりやす
く、読みやすい、見やすいと
いうことを念頭に置き、議会
活動を載せて参りますので、
どうかよろしく願います。

編集後記